

## (2) リサイクルの推進

### 1) 達成目標の設定

「リサイクル率 30 %」(ごみの総排出量に対する割合)

### 2) 具体的目標数値の設定

平成 16 年 : 12.4% → 平成 28 年 : 30%

#### イ 太田市のリサイクルの現状

資源ごみの分別回収されたものや集団回収、コンポスターなどによる家庭内処理などを合わせると、平成 16 年度(2004 年)では、ごみの総処理量に対する割合(リサイクル率)は、約 12.4%となっています。(参考資料④「ごみ処理展開図」)

平成 14 年度の全国平均は、15.9%です。

#### ロ 目標値の設定

平成 16 年 4 月にオープンした“太田市外三町広域清掃組合リサイクルプラザ<sup>※1</sup>”や“太田市灰溶融施設<sup>※2</sup>”の稼働により、分別回収の普及や資源の有効再生活用などさらなるリサイクルの普及が進みます。

また、さらにごみを有効活用するために、発砲スチロールトレイや牛乳パックなどは洗って分別処理する、リサイクルマーク<sup>※3</sup>の認識を高めるなど、“4 R 活動<sup>※4</sup>の啓発”“市民意見交換会の開催”などを展開し、リサイクル率の向上を目指し、

10 年後の目標値をリサイクル率 30%とします。

参考までに、国の平成 22 年度(2010 年)の目標値は 24%です。

#### ※1 リサイクルプラザ

リサイクルプラザとは、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみを処理するごみ処理施設に、『不用品の補修、再生及び再生品の展示、保管』による住民への啓発、普及のためのプラザ機能を備えた施設です。

太田市清掃センターに隣接しており、太田市、千代田町、大泉町及び邑楽町の 1 市 3 町で構成された広域清掃組合です。

#### ※2 太田市灰溶融施設

太田市における循環型社会の構築を目指して、焼却灰を高温溶融処理し、無害化されたスラグを製造する溶融炉を導入し、リサイクル社会の実現及び地域社会への環境負荷の低減を目指しています。

太田市清掃センターに隣接しており、市の単独公共事業の中で土木資材として利用しています。

#### ※3 参考資料⑤「リサイクルマークと目安」

#### ※4 4 R 活動

Refuse リフューズ(断る):必要ないものは買わない。ごみを発生源で絶つ。

Reduce リデュース(減らす):ごみになるものは極力少なくする。

Reuse リユース(再利用):使い捨てのものは買わない。繰り返し使う。

Recycle リサイクル(資源化):再生資源に戻す。

(参考：可燃ごみの組成について)

太田市清掃センターからの提供資料（ごみ成分計量証明書）から試算すると、清掃センターで焼却される「可燃ごみ」のうち、分類としては“紙・布類”が49.3%、“廃プラ系（ビニールなど）”が27.5%に分類されます。

また、ごみの成分としては、36.5%が“水分”に当たることが分かりました。

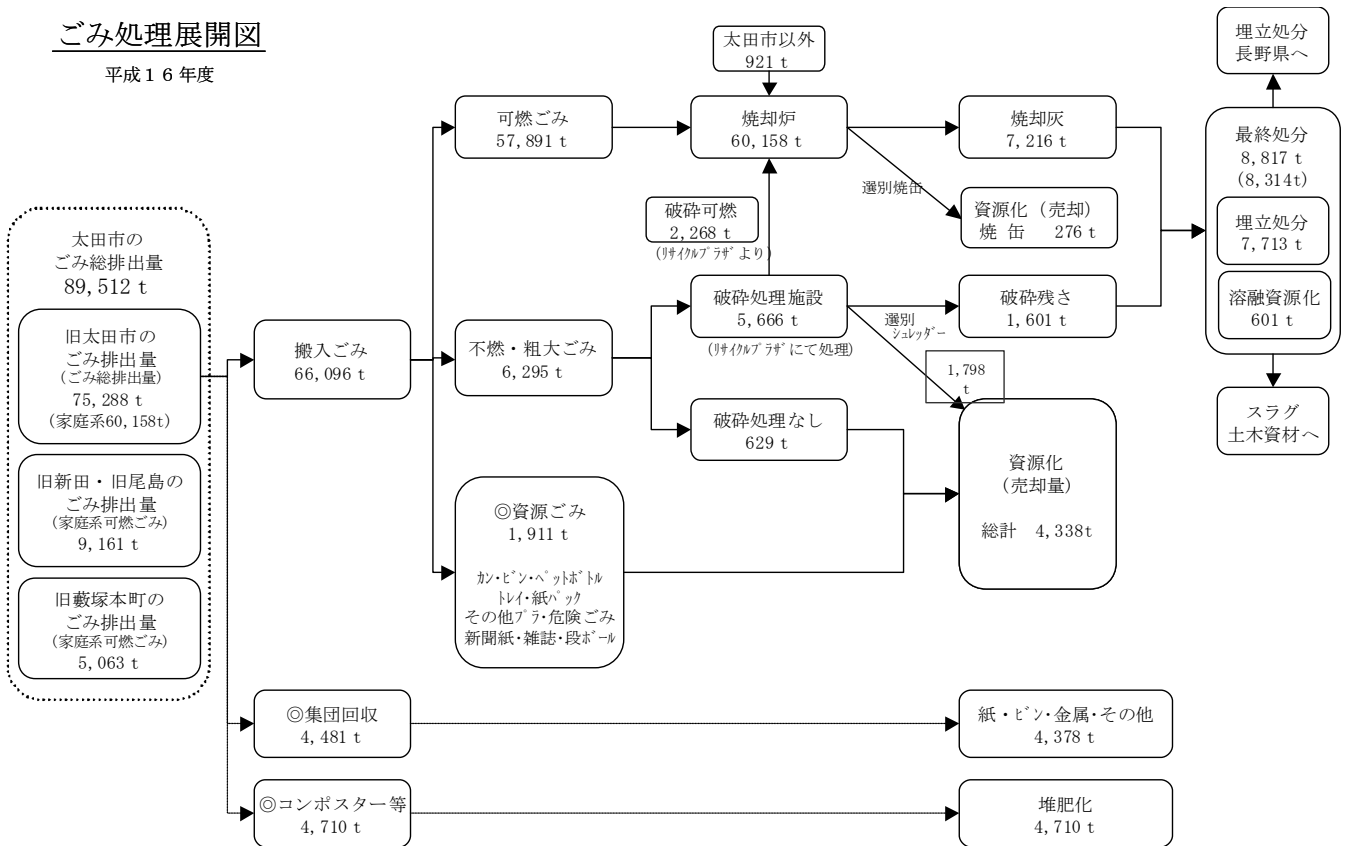
なお、次項の「地球環境の保全、温暖化効果ガス抑制」において記述していますが、ごみ焼却における温暖化効果ガスの発生量(源)として、ビニールなど廃プラスチック系のごみの処理が大きなウエイトを占めています。

※参考資料⑥：「ごみ焼却成分」

《参考資料④》 ごみ処理展開図

ごみ処理展開図

平成16年度



資料：太田清掃センター、桐生広域清掃センター

※平成16年度(4月1日～翌3月31日)のごみ排出量です。数値は、計測機械及び四捨五入により誤差があります。

◎リサイクル処理物

- ・資源ごみ(実数は減量します)
- ・集団回収
- ・コンポスター等

◇リサイクル率

リサイクル処理物 / ごみ総排出量  
 $11,102t / 89,512t \times 100 \approx 12.4\%$

## リサイクルマーク、どうリサイクルされるの？

…資源が生まれ変わるしくみ このページで紹介するマークは、分別しやすいように、製品が何でできているかを表すためのものだ。

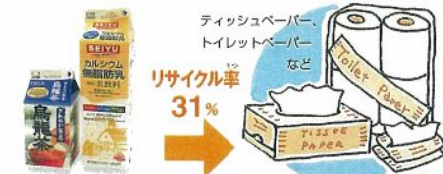
### 紙製の容器



紙ぶくろや紙の箱、包そう紙などについているマーク。ティッシュペーパーの箱の取り出し口のように、二重にプラスチックが覆われているものもあり、その場合は、プラスチックのマークも表示する。



内側にアルミをはってない紙パックについているマーク。水分がもれないように、表面にプラスチック製のうすいフィルムがはってあり、リサイクルするときに取り除いている。



段ボールについているマーク。外国から輸入される製品の段ボールもリサイクルされるので、リサイクル率は100%をこえている。資源として回収される缶底のうち、半分くらいが段ボールだ。



### 電池



充電池の電池についているマーク。マークの半には、電池の種類を表すアルファベットが書かれている。ニッケルやカドミウムなど、貴重な金属が使われていて、これを取り出してリサイクルされる。

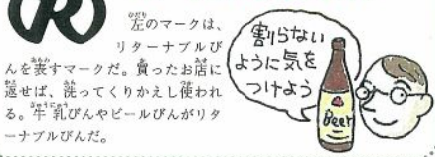


### 充電式電池はここへもっていこう

若の写眞の箱が書いてある電池店にもっていこう。充電式電池を棄めるための箱で、箱に入れておけば、無料で回収してくれる。



### リターナブルびんって何？



左のマークは、リターナブルびんを表すマークだ。買ったお店に還せば、洗ってくりかえし使われる。牛乳びんやビールびんがリターナブルびんだ。

### 缶



アルミ製の飲み物の缶についているマーク。アルミは、つくるときにはたくさんのエネルギーが必要だが、リサイクルするときは、その3%のエネルギーでつくり直すことができる。



スチール（鉄）製の飲み物の缶についているマーク。鉄は、どんなものにもリサイクルできるのが嬉しい。1羊筒にスチール缶からリサイクルされる鉄の量は、東京タワー約250個分にもなる。



お茶缶やお菓子の缶など、飲み物以外のスチール缶についているマーク。いろいろな形をしたものがあるが、鉄は硬いにつくづく性質があるので分別しやすく、リサイクルもしやすい。



### プラスチック製の容器



飲み物やしょうゆのペットボトルについているマーク。リサイクルでペットボトルにするのはむずかしかったが、化学的に分解することで、ペットボトルをつくることができるようになった。

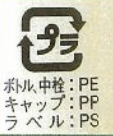


食品トレイや洗剤のボトルなど、プラスチック製の容器や容器についているマーク。新しい製造につくりかえるリサイクルよりも、化学的にリサイクル（ケミカルリサイクル）の方が多い。



### ケミカルリサイクルって何？

プラスチックに熱を加え、化学原料にもどしてから再利用したり、プラスチックを炭の代わりにして化学反応の材料に使ったりするリサイクルの方法を「ケミカルリサイクル」という。ケミカルリサイクルは、プラスチックのリサイクル全体の約80%をしめる。



プラスチックの種類を表示

プラスチックのマークの中には、部分ごとにどのプラスチックが使われているか書いてある。

PE…ポリエチレン  
PP…ポリプロピレン  
PS…ポリスチレン

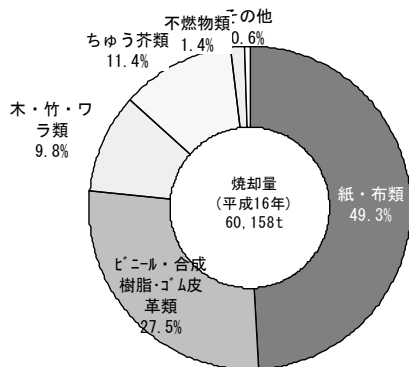
《参考資料⑥》 ごみ焼却成分表

ごみ焼却成分表（計量証明書より）

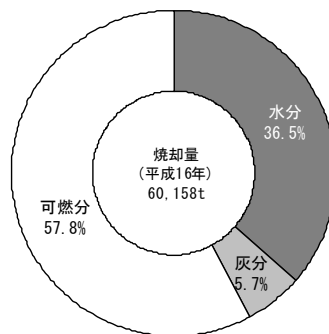
		単位	焼却炉	5.24	8.25	11.21	2.13	年平均	焼却量(t)
ごみ成分	紙・布類	%	3号炉	56.8	34.5	39.8	59.3	49.3%	29,658
			4号炉	56.6	51.3	40.0	56.3		
	ビニール・合成樹脂・ゴム皮革類	%	3号炉	22.0	44.0	28.9	29.1	27.5%	16,543
			4号炉	22.7	27.9	14.6	30.7		
	木・竹・ワラ類	%	3号炉	7.0	5.8	19.0	4.4	9.8%	5,895
			4号炉	8.4	11.4	12.3	10.1		
	ちゅう芥類	%	3号炉	12.7	15.3	8.2	5.1	11.4%	6,858
4号炉			10.5	6.4	31.4	1.5			
不燃物類	%	3号炉	1.0	0.1	3.5	1.2	1.4%	842	
		4号炉	1.1	2.2	1.3	0.8			
その他	%	3号炉	0.5	0.3	0.7	0.9	0.6%	361	
		4号炉	0.7	0.9	0.4	0.7			
ごみ焼却状況	単位容積重量	kg/m <sup>3</sup>	3号炉	110	180	150	140	145.0	/
			4号炉	160	150	150	120		
	水分	%	3号炉	26.3	53.9	35.6	34.9	36.5%	21,958
			4号炉	32.5	47.4	30.5	31.2		
	灰分	%	3号炉	6.7	3.2	6.6	5.5	5.7%	3,429
			4号炉	6.0	4.9	7.2	5.3		
	可燃分	%	3号炉	67.0	42.9	57.8	59.6	57.8%	34,771
			4号炉	61.5	47.7	62.3	63.5		
	計算低位発熱量	kJ/kg	3号炉	12,000	6,730	10,000	10,400	9,991.3	/
			4号炉	10,800	7,800	11,000	11,200		
	実測低位発熱量	kJ/kg	3号炉	13,800	9,640	12,400	12,700	12,051.3	/
			4号炉	12,500	9,470	12,100	13,800		

※焼却量を平成16年（60,158 t）として計算 出典：平成17年度 清掃センター（計量証明書）

ごみ成分グラフ



ごみ焼却分グラフ



清掃センターで焼却される「可燃ごみ」のうち、「紙・布類」が約50%、「廃プラ系(ビニール等)」が28%です。  
また、ごみの焼却分としては、36.5%が「水分」に当たります。